

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 必ず入力してください （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)すべての人に愛情をもって接します。 2)子どもの最善の利益の追求し、保護者の子育てとしごとの両立支援を貫きます。 3)すべてのものを敬い、謙虚さと感謝を忘れません。 4)常に向上心・探求心を持ち学ぶ姿勢を持ち、学ぶことを考えることを怠りません。 5)人には誠を尽くします。そこから信頼が生まれます。ご縁のあるすべての人に誠に尽くします。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 必ず入力してください
	1. 職場内の人間関係において協調性、協力的態度を持つ。 2. 保育士としての使命感、責任感を持つ。 3. 心身共に健康であるということ。 4. 愛と思いやりを持つ。 5. 乳幼児を理解し、保育技術を高める。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 必ず入力してください
	「サービスの基本5S」も忘れずに。①スマイル、いつも明るい笑顔で対応。②スピーディ、テキパキと機敏な行動。③スマート、清潔な身だしなみ、スマートなサービス。整理整頓はできているか。④シンセリティー、心のこもった誠意ある対応。誠意、熱意、好意を持つ。⑤スタディ、豊かな知識。自分から積極的に学ぼうとする意欲を持つ。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保護者全16世帯		
調査方法	園児の保護者にアンケートを保育園よりアンケートを配布いただき、保育園へ提出または直接評価機関へ返信いただきました。		
	利用者総数	16	
	利用者家族総数（世帯）	16	
	共通評価項目による調査対象者数	16	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	14	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	87.5	

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な満足度は全回答者14名のうち「大変満足」と回答した方が7名、「満足」と回答した方が4名、「どちらともいえない」と回答した方が2名、「不満」と回答した方が1名でした。「特に、行事など一生懸命取り組んでいただけていると感じます」「いつ登園しても元気に挨拶をしてくれていて、清潔な園内で安心して子どもをあずけられています」「毎月、園での楽しいイベントなどがあって、かわいいお土産もあり、気に入って家で遊んでいます。先生たちに困ったときに相談したことがあり、親身に聞いてくださり助かりました」といった好意的な意見がある一方で、「散歩のときに事故にあう確率が園庭がある園に比べて、高いということ、いろいろな遊具を使っのびのびと遊ぶことができないことが、小規模保育のデメリットであることを痛感しています」「土曜日保育が月に1度しかないのが不満」といった意見もありました。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	14	0	0	0
回答者全員が「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っている」と回答しています。「園に通うことによる成長も感じます」「3月生まれなので他の子よりも小さいですが、先生がしっかり配慮してくれます」といったコメントがありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	14	0	0	0
回答者全員が「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっている」と回答しています。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	13	0	0	1
全回答者14名のうち「提供される食事は、子どもの状況に配慮されている」と回答した方が13名、「非該当」と回答した方が1名でした。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	13	1	0	0
全回答者14名のうち「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっている」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	10	1	1	2
全回答者14名のうち「保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されている」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が2名でした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	12	2	0	0
全回答者14名のうち「安全対策が十分取られている」と回答した方が12名、「どちらともいえない」と回答した方が2名でした。「災害時の避難訓練等、何か起きた際の対応についてもう少し具体的に教えて頂きたいと思います」といった要望がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	10	3	1	0
全回答者14名のうち「行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が3名、「いいえ」と回答した方が1名でした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	13	1	0	0
全回答者14名のうち「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係がある」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	13	1	0	0
全回答者14名のうち「施設内の清掃、整理整頓は行き届いている」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	11	1	2	0
全回答者14名のうち「職員の接遇・態度は適切」と回答した方が11名、「どちらともいえない」と回答した方が1名、「いいえ」と回答した方が2名でした。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	11	2	0	1
全回答者14名のうち「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できる」と回答した方が11名、「どちらともいえない」と回答した方が2名、「非該当」と回答した方が1名でした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	9	2	1	2
全回答者14名のうち「子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できる」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が2名、「いいえ」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が2名でした。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	13	1	0	0
全回答者14名のうち「子どもの気持ちを尊重した対応がされている」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	9	3	0	2
全回答者14名のうち「子どもと保護者のプライバシーは守られている」と回答した方が9名、「どちらともいえない」と回答した方が3名、「非該当」と回答した方が2名でした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	13	1	0	0
全回答者14名のうち「保育内容に関する職員の説明はわかりやすい」と回答した方が13名、「どちらともいえない」と回答した方が1名でした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	10	2	1	1
全回答者14名のうち「利用者の不満や要望は対応されている」と回答した方が10名、「どちらともいえない」と回答した方が2名、「いいえ」と回答した方が1名、「非該当」と回答した方が1名でした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	4	4	2	4
全回答者14名のうち「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられている」と回答した方が4名、「どちらともいえない」と回答した方が4名、「いいえ」と回答した方が2名、「非該当」と回答した方が4名でした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ１		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ１（１－１）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
	評価項目１ 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（ ○○ ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目２ 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、 事務所をリードしている 評点（ ○○ ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目３ 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて 意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（ ○○○ ）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリ１の講評 カテゴリ１の講評を入力してください			
①法人理念・基本方針は、研修会に組み込み、掲示することで、理解や周知を図っています 園長は、「すべての人に愛情をもって接します」とする基本方針を大切にして、保育園を運営しています。また、法人理念は、常に職員の目に触れる玄関正面に掲げるとともに、毎年行われる職員の研修会において、理事長より講話を受ける等、理念の共通理解を図っています。一方で、保護者については、入園時、重要事項説明書を配布して、園の運営方針等について説明する機会がありますが、法人理念は、入園案内パンフレットのみとなっているため、重要事項説明書に記載する等のさらなる取り組みに期待します。 ②園長は、職員との対話を大切にし、一体感の醸成に努め、園をリードしています 職員体制が常勤職員８名の小規模な園で、保育室は、ワンフロアで一望できるため、園長は、職場全体の掌握が容易にでき、日常の保育現場で積極的にコミュニケーションを図りながら、職員と使命感の共有に努めています。また、園長・主任・副主任の職務分掌は、明確で、園長からの指示は、確実に職員へ伝わるようになっています。さらに、保育現場での懸案事項については、園長が、職員をその都度集め、話し合いを尊重して決定する等、一体感を醸成しながら、園			

	運営していくことを心がけています。 ③重要な案件の決定事項は、ミーティングや職員会議で伝え、職員間で共有しています 法人組織図では、遠地にある法人本部と東京支部の双方から、運営上の指示がされるようになっており、理事長からの連絡事項を含め、決定した園運営上の重要な案件は、メールやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を通じて、園長あてに伝達が行われています。また、職員全体の共通理解が必要な事項は、ミーティングや職員会議の場で、園長より職員へ伝達して共有する他、欠席した職員は、「園児管理システム」で確認しています。さらに、保護者へは、登降園時の口頭での説明や、園だより・掲示・「連絡帳アプリ」等で周知を図っています。																																												
2	カテゴリー 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 サブカテゴリー 1（2-1） 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点（○○○○○○○） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> サブカテゴリー 2（2-2） 実践的な計画策定に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点（○○○） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点（○○） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> カテゴリー 2 の講評 カテゴリー 2 の講評を入力してください			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当																																											
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当																																											
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当																																											
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当																																											
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当																																											
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当																																											
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当																																											
評価	標準項目																																												
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当																																											
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当																																											

保護者の意向や要望は、行政のアンケート内容を参考にして、個人面談時や毎日の登降園時に、直接、把握するように努めています。また、園運営にかかる職員からの意向や意見については、その都度、園長が話を聞き、内容を十分把握したうえで、本部と東京支部へ報告し、情報共有を図っています。さらに、区からの情報は、区報やメール、インターネットから情報収集する他、園長は地区の小規模保育全体会に出席する等、行政の情報をより深く理解するように努め、課題やニーズを把握して、保育活動の質の向上に役立てています。

法人は、中・長期事業計画において、各園統一の計画を策定しており、新規認可保育園の開設と、職員の配置転換によるキャリアアップの計画を謳っています。また、園の単年度事業計画には、市町村条例による運営基準の遵守や、ＩＴを活用した事業の効率化、人材育成、本部のノウハウの習得等を計画しています。しかし、法人の中・長期事業計画のアウトラインが、園の中・長期の見通しを説明するものとはなっていないため、園の単年度事業計画を踏まえた、より丁寧な中・長期事業計画の策定を期待します。

毎月、ほぼ定額の事業収入が見込めるため、園長は事業収支の結果にとらわれることなく、小規模保育の特色を活かして、事業計画の推進に取り組んでいます。また、園における課題の共有化は、定期的開催される園長会で行い、会議における検討結果や行政のガイドライン等を参考にして、計画の見直しや修正を行いながら、目標達成に向けて取り組んでいます。さらに、日常発生する各種費用や職員の出退勤等については、園長が管理し、東京支部への報告と微調整を行って、予算管理の徹底に努めています。

3	カテゴリ 3		
経営における社会的責任			
サブカテゴリ 1 (3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
評価項目 1			
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点 (○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当	
サブカテゴリ 2 (3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
評価項目 1			
利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点 (○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当	
評価項目 2			
虐待に対し組織的な防振対策と対応している		評点 (○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織	○非該当	

	として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
サブカテゴリー 3 (3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1			
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点 (〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目 2			
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点 (〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリー 3 の講評		カテゴリー 3 の講評を入力してください	
①守るべき法・規範等は、運営マニュアル・就業規則にまとめて、職員へ周知しています 法人は、倫理規範・人権尊重・個人情報の取り扱い等、園に勤務するうえで必要なルールを、運営マニュアルや就業規則にまとめて、職員に周知しています。また、園長は、その内容について、日々のミーティングや職員会議の中で説明し、職員の理解を深めています。さらに、職員との個別面接において、行政から提供される「振り返りガイドライン」を使用して、保育活動の中での、個人の尊厳の遵守や子どもや保護者への言葉遣い等について話し合い、課題があれば検討し、修正を行うよう働きかけています。 ②苦情解決のしくみを整え、入園時に詳細に説明して、保護者への理解を深めています 園における苦情解決制度は、担任の保育士が窓口となり、主任・園長と情報共有する他、園内で解決できない要望・苦情は、園長から東京支部および理事長へ上申することで、法人の課題ととらえ、解決を図っています。また、園長は、職員にその流れを周知して、要望・苦情の対応が滞らないように配慮しています。さらに、保護者に対しては、入園時に重要事項説明書を用いて、要望・苦情がある場合の申し出方法や、園における対応を詳細に説明し、併せて、外部機関も紹介する等、苦情・要望の受け入れについての体制を整えています。 ③戸外活動時や行事の際に、地域住民と交流を図り、一体感のある関わりができています 商店街の中に立地しており、商店街等の地域住民を、夏祭りやハロウィンごっこ等の園の行事に招く他、日常の保育活動の中でも、戸外活動時に地域住民と挨拶を交わし、声を掛け合う等、一体感のある関わりにつなげています。また、地域の保育園の事業者連絡会や小規模保育連絡会のネットワークにも積極的に参加し、地域情報の収集と、地域に理解を得るための情報発信に努めています。さらに、専門性を地域社会に還元するために、実習生やボランティアを受け入れる等、園活動の透明性を高めるとともに、職員の育成につなげています。			
4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
サブカテゴリー 1 (4-1)			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1			
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点 (〇〇●●〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、		○非該当

		経営環境の変化など) を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している		○非該当
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		○非該当
サブカテゴリー 2（4-2）			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目 1			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点（○○○○）	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している		○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている		○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している		○非該当
カテゴリー4の講評		カテゴリー4の講評を入力してください	
①子どもの安全を守るため、感染症を最優先事項に掲げて、取り組んでいます 園は、あらゆるリスクの中でも、感染症に優先順位をつけ、マニュアルを活用して取り組んでいます。日頃より、子どもや保護者へ手洗いを促し、感染症流行時期のマスクの着用や汚物の持ち帰りについて伝える等、園における感染症の発生抑止と拡大防止の対策を講じています。また、子どもの安全を第一に考え、小さな事故でも行政へ報告し、対応を検討する他、日頃使う遊具の点検を定期的に行い、事故防止に努めています。さらに、不審者侵入のリスクに関しては、園内に警察署直結の防犯ベルを設置し、即時の対応を可能にして、不測の事態に備えています。 ②BCP（事業継続計画）の再開スケジュールを明確にする等、一層の充実を期待します 園は、毎月避難訓練を行い、地域の消防署と連携して、災害発生に備えています。しかし、直近の台風時には、開園が原則であったものの、災害計画通り進まない難しさも確認しています。その中で、事業継続計画については、大地震発生時に加え、台風・水害・火災発生時等、それぞれの避難計画等が策定されていますが、園における事業継続のスケジュールが明確になっていないため、事業の継続および早期復旧を目指して、事業再開時期を明示する等、一層充実を図ることを期待します。 ③「園児管理システム」の管理方法を明確にして、情報漏えい防止の対策を講じています 収集された子どもに関するさまざまな情報は、「園児管理システム」で一括管理し、「どこでもキャビネット」というフォルダにデータを保管して、いつでも取り出せるようになっています。また、園長・主任・職員、それぞれにパスワードを設定し、アクセスするための権限を定める等、情報漏えい防止の対策を講じています。さらに、園共通のパソコンについては、職員はアクセス可能としていますが、USBメモリは使用しないよう制限して、園内で取り扱うことを原則にしており、園外へのデータ持ち出しを禁止しています。			
5	カテゴリー 5		
職員と組織の能力向上			
サブカテゴリー 1（5-1）			
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目 1			
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点（○○）	

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○●●○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2（5－2）		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評 カテゴリー 5 の講評を入力してください		
①採用しやすい環境づくりと、職員との育成面接により、必要な人材を確保しています 法人における雇用は、正規職員・契約職員・パートタイマー・派遣職員等、あらゆる雇用形態の採用選択を可能としています。また、採用手段も、ハローワーク・専門職養成校への求人他、ホームページ・インスタグラム等、各種 SNS を使用して、幅広く採用対象者を広げ、採用環境を整備しています。さらに、入職後のキャリアパスも確立・周知されており、給与等支給規程で処遇との関連も明確にしている他、年 1 回の育成面接において、園長は、配置転換の要望を確認する等、働きやすい職場に向けて、環境を整える工夫に努めています。		

②個人別研修履歴の整理と、職員ごとに焦点をあてた個人別育成計画の策定を期待します

職員研修については、担当業務に応じた専門研修を推奨する他、幼児活動研究会の研修では、リーダー研修を実施して、指導者の基本・応用知識、技術を習得する場を設けています。また、個人ごとの日常業務の成果や、「園児管理システム」の習得状況に応じて、各種研修への参加を積極的に勧めています。一方、全体の研修体系において、過去の個人別研修実績を踏まえた、個人別育成計画の策定には至っていません。今後は、育成目標の共有を目指して、個人別研修履歴の整理と、職員一人ひとりに焦点をあてた個人別育成計画の策定を期待します。

③「働きやすい福祉の職場宣言事業所」の認証を取得し、働きやすい職場を実現しています

都の「働きやすい福祉の職場宣言事業所」の認証を取得し、採用から離職まで、労働法・労働基準法や労働契約法を遵守した職場環境であることを宣言しています。また、有給休暇の取得や時間外勤務の実施においても、小規模な職場であることを活かして、職員同士のコミュニケーションの中から要望を把握し、無理のない勤務を実施できるよう努めています。さらに、今期から福利厚生増進と実現を目的として、福利厚生センター（ソウェルクラブ）に入会し、職員の健康管理や慶弔関係ルール等の充実を図っています。

7

カテゴリー 7

事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー 1（7-1）

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目 1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

法人の理念、基本方針のもと、職員が積極的に保育に取り組む環境を作り、無理のない工夫した活動を企画することと、それにより、一年を通して、子ども達が、生き生きと過ごせるようにすることを目標に掲げました。職員が、積極的に保育活動に取り組むことにより、保護者も園の活動を理解でき一緒に楽しんでもらえるため、職員のミーティングを、数多く実施し、行事等の企画への提案も、積極的に行い、話し合いました。その結果、今まで受動的であった職員も自分の企画を提案し、参加するようになり、園活動の活性化が促され、職員の発言も多くなり、保育環境に変化がみられました。今年度も引き続き、子どもの成長を見守り、より良い保育を目指しました。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目 1 で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

職員が、子どもと保護者のために、積極的に保育活動に取り組み、ミーティングを数多く実施して、お互い意見交換することで、行事をはじめとした毎日の保育活動の活性化が促され、保育環境が変化していき、子どもが生き生きとし、自発的に楽しめる姿につながりました。

そこで、今年度も引き続き、子どもの成長を見守り、子どもの気持ちを引き出せる声かけに努め、より良い保育を目指しています。

評価項目 2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

ICT化を推進して、記録の時間を子どもと関わる時間に替え、業務負担を軽減し、子どもや保護者の情報共有と迅速な対応を行うことを目標に掲げました。「園児管理システム」を構築し、業務支援システムを導入して、「連絡帳アプリ」の使用を開始し、保護者と連携を図りました。紙媒体から電子媒体への移行にあたっては、職員から戸惑いの声もありましたが、互いに教え合い、理解し合うことで、一体感が生まれ、浸透していき、システム導入がスムーズに進みました。また、「園児管理システム」は、子どもの保育活動の計画である指導計画、日常業務の実績等の書類作成が、順調に進みました。今年度も引き続き、記録の時間を子どもと関わる時間に替え、業務負担を軽減し、子どもや保護者の情報共有と迅速な対応を行うために、ICT化の推進を目指しました。

目標の設定と 取り組み	○具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ●具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
記録の時間を子どもと関わる時間に替えるとともに、職員の業務負担を軽減し、子どもや保護者の情報共有と迅速な対応を行うことを目標に掲げ、ＩＣＴ化の充実を図っています。職員間では、操作を習得した職員が中心となり、互いに教え合い、理解し合うことで、一体感が生まれ、浸透していき、システム導入がスムーズに進みました。今年度も、ＩＣＴ化によるパソコン入力等、全職員が円滑に使えるように、引き続き、システムの普及と使いやすさの向上に努めることを目指しています。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		サブカテゴリー1の講評を入力してください
	①法人製作のコンパクトにまとめられた、わかりやすいホームページが開設されています 園の情報を伝えるツールとしてはパンフレットと法人が製作しているホームページがあり、区のホームページ（子育て役立ち便利帳）にも掲載されています（リンク先は法人のホームページ）。法人のホームページには基本情報、入園の案内（入園の案内には必要な書類や年間行事、0歳児と1～2歳児の日常のプログラムが掲載されています）、園の概要、園からのお知らせとしての毎月の園だより、マップ等の他に、園の行事や活動の様子を写真で紹介しているブログが掲載されていてコンパクトにまとめられており、非常にわかりやすい内容となっています。 ②写真や可愛いイラストで紹介する園手作りのパンフレットがあり見学者に手渡ししています パンフレットは法人の素材を使っの園の手作りのもので、法人の理念や沿革、園の「私たちの願い」、園の概要、年間行事、毎日の流れ、開園日・時間・休園日、地図等が写真や可愛いイラストと共に掲載されており、見学者等に手渡ししています。地域に向けての発信ツールはありませんが、地下鉄駅の線路ガード下に園があり、ガラス戸に可愛い絵が装飾されていて一目でわかるようになっていて、メトログループのホームページでも紹介されています。外部に向けての掲示板等は設えられていませんが、保護者向けの情報は園内に掲示されています。 ③子どもとの距離を近くし、行事も豊富ですが、行事のための保育でないことを伝えています 見学希望は区からの紹介を受けた方が多いのですが、通りがかりの方がガラス戸の絵等を見て「どのような保育園なのか」と来られることもあるそうです。小規模保育なのでスペース的にそれほど余裕がないため、願書を出す時期など混み合う時は希望日を定めて（1日4名ほど）の見学をお願いしており、子どもたちの活動がある午前中に子どもの様子を見てもらうようにしています。見学者には子どもとの距離が近くて行事等も豊富であること、しかし行事のための保育はしていないこと等を伝えています。		
2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握し	○非該当

		ている	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー 2 の講評 サブカテゴリー 2 の講評を入力してください			
①利用開始前に園で面接をして、重要事項等の読み合わせをしながら説明しています 区から新入園の通知が届いたら手続き関係の書類を保護者に送り書類への記入をお願いすると共に、園から連絡を入れて面接の機会を持つようにします。面接時に重要事項説明書等を園側の一方通行の説明にならないように読み合わせをしながら説明していきます。重要事項説明書の同意書を得ると共に、個人情報保護、写真販売の件、また園では従来の紙媒体による連絡帳からアプリを使つての連絡にする旨の説明と同意を得ています。 ②保護者の就業事情によって個人差はありますが、1週間程度の慣らし保育も行っています 園では記録類はすべてパソコンに入力をしています。面接時の記録や利用後の子どもの状況については最初に担任が入力をして、その後は職員が都度入力をしています。利用当初は保護者の勤務状況によっては慣らし保育をしています。保護者の仕事の関係もあるので、最初は食事までの2～3日間、個人差はありますが、大体1週間程度としています。また、登園時や慣らし保育の際に保護者から当日の様子を聞き取ったり、伝えたりして、それらの記録は職員がパソコンのケース記録に入力をしています。 ③利用当初には子どもが安心して過ごせるように常に笑顔で接するように努めています 利用当初には、子どもと保育士がじっくりと関わり、安心して過ごせるよう全職員が協力をしながら、常に笑顔で安心させるように努めています。3歳児の施設移行については区から園に送られてきた先行利用の用紙を保護者に渡して説明をし、不安の軽減を図っています。職員間の連絡は、保育時間中に子どもを見守りながら話をしたり、午睡の時間等を利用して連絡や話し合いをしています。どうしても伝えなければならない事項については、ボード記入や口頭で確認しています。			
3	サブカテゴリー 3		
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点（ ○○○ ）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点（○○○○○）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている		○非該当
評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（ ○○ ）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当

●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評 サブカテゴリー 3 の講評を入力してください		
①ICT化により子ども一人ひとりに関する記録や計画立案ができるようにしています それぞれの家庭状況に合わせ、保護者と話し合いながら常に連絡を取り、その内容は担任か園長がケース記録に入力しています。指導計画については定期的ではなく自らが必要と感じた時点で見直しをし、変更しています。園では法人がICT化を図り、準備したパソコン上の園児管理システムがソフトとして完備しており、子ども一人ひとりに関する記録や計画を立てることができるようになっていきます。 ②指導計画は子ども一人ひとりについて個別の計画を策定、見直しするようにしています 指導計画は子ども一人ひとりについて個別の計画を策定しており、法人が導入している脳科学の研修に参加して資格を得た職員がその部分についての見直し等も行っています。指導計画は5領域にわたって細かく年間計画が策定されていて、その年間計画に沿って月案等を担任と園長が相談しながら立案しています。指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、担任を中心として作成や見直しをしています。特別な支援が必要な子どもについては支援センターと連携する体制を整えています。 ③指導計画に沿った保育の状況は個人発達記録チェックにより確認するようにしています 指導計画についてはアプリを使っの連絡帳もしくは口頭でも、毎月の個別計画を保護者に伝えており、子どもの日々の成長の度合いに応じて見直しをしています。毎日のように伝わってくる保護者からの子どもの情報は都度「保護者送迎備忘録」ファイルに入力されて共有が図っています。子どもの状況はケア記録に入力し、計画に沿った保育の状況は個人発達記録チェックで確認しています。子どもだけでなく園の全体的な連絡事項がパソコン上で共有できるシステムが整備されています。		
5	サブカテゴリー 5	
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー 5 の講評 サブカテゴリー 5 の講評を入力してください		
①ICT化による情報管理の進捗のため、情報保護を確実にする体制や環境を整えています パソコンによる情報管理を進めている関係上、情報の保護については情報保護規定や文書管理規程等のマニュアルの整備も当然ですが、システム上やハード面でも情報保護については非常に高いセキュリティ対策が施されていて、情報管理の徹底を図っています。ホームページにはプライバシーポリシーが掲載されており、保育園の利用に際し収集してい		

る個人情報の取り扱いについて、契約時に説明と同意を得ています。ホームページやパンフレット等への子どもの写真掲載についての同意書も得ています。

②法人や指定者の区のガイドラインに沿ったプライバシー保護に努めています

子どものプライバシー保護に関しては、法人の教育・保育方針にある躰の考え方や指定権者である区の教育・保育の質ガイドラインのプライバシーの保護についての指針に従っています。トイレの使用、着替え、シャワーの使用にあたっては、裸にならないように気をつけ、パーティションを使い、見えないようにしています。乳児の段階で男女間の意識はないと思われませんが、着替えの際には裸にならないように、服も順々に着替えをしていくように教えています。

③法人の理念や考え方を基本とし、保護者の事情に寄り添う支援をしています。

法人の「私たちの願い」には「子どもの最善の利益を追求し保障していきます」とあり、法人の理念やクレド（行動規範）、教育・保育の方針はホームページやパンフレット、重要事項説明書に記載されており、職員はその実現に向かっての保育に努めています。就労している保護者が多いので、極力就労状況や家庭の事情に配慮するようにしており、突然の延長保育にも応じています。虐待防止には力を入れており、虐待防止のマニュアルの整備と共に行政関係や区内同一法人系列3園の合同研修会に職員も参加させて、意識の啓発に努めています。

6

サブカテゴリー 6

事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

評価項目 1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点（ 〇〇〇 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目 2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点（ 〇〇 ）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー 6 の講評

サブカテゴリー 6 の講評を入力してください

①マニュアルや手順書は整理、整備されてパソコンに収納されており、随時閲覧可能です

マニュアルや手順書類は法人が長い伝統の中で培ってきたものが細部にわたって定められ、項目別に整理され、理念やクレド（行動規範）等や重要事項説明書等と共にパソコンの管理システムの中に収納されており、職員は随時閲覧することができるようになっています。これらの見直しについて基本事項や手順に沿っていなかった場合は、定期的に点検を行い、見直しや付け加えるようにしています。区内同一法人系列の3園合同で検討を始めており、重要事項説明書等は配布する前までに協議を行うことにしています。

②指定権者である区の定めたガイドラインに沿った保育水準かどうかの確認をしています

法人や園で整備されたマニュアルや手順書と共に、指定権者である区が定めた教育・保育の質ガイドラインに沿った保育を実施することが求められており、そのガイドラインは職員に配布されています。添付されている保育実践振り返りシート（358項目）の中の該当する箇所を使って年1回は振り返りをして、提供している保育の確認をしています。提供している保育の基本事項や手順等は見直しの時期を確定していませんが、年度初めに確認をしています。

③様々な機会や手段で保護者や職員の意見を聞き取って、改善への提案も実現しています

提供している保育の基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案をパソコン通信や電話等で理事長へ伝えることができるシステムが整備されています。保護者からの意見や要望は登降園の際の会話や懇談会、個別の面談で聞き取るようにしています。職員からの意見や要望はパソコンの管理日誌上での提案や午睡時の職員間での

	話し合いでも出されており、当初玄関での子どもの受け渡しだったのを園の中にまで入れるようにしたのも職員からの提案だったそうです。
--	---

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（○○○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
	評価項目 1 の講評		
	評価項目 1 の講評を入力してください		
	①保護者アンケートからも子どもたちに温かく接していることがうかがえる内容となっています 子ども一人ひとりの指導計画は担任が立案していますが、園長や2歳児担当の主任や1歳児担当の副主任も計画を見てチェックを行うと共に話し合いを常時持っています。今回の保護者へのアンケートでも保育園の活動内容、食事、自然と触れ合う機会などへの保護者の「はい」が回答者の93%以上と非常に高い割合を示しており、温かく接している様子が伺えます。園外活動では「歩くことも勉強の一つ」と、天気が良ければ住宅地や商店街を通して近くの公園に行き、公園で団栗を拾ったり、遊具で遊んだり、近くの商店街のデコレーションを見て楽しんでいます。 ②様々な行事等によって、子どもたちがいろいろなことに関心や興味を引くことに努めています 園では狭いスペースの中でも子どもたちが楽しく過ごすことができるように様々な遊びや遊具等を工夫しています。月例行事として誕生会を開催し、子どもの日、節分、雛祭り、七夕、夏祭り、親子遠足、お月見、クリスマス会と四季折柄の行事を企画して、いろいろな事柄に興味や関心を持つように働きかけています。1～2歳児別々のプログラムもありますが、同じプログラムを実施する場合は2歳児には少しレベルを高くし、プログラムにメリハリをつけています。 ③子ども同士のトラブルは「良くないこと」を子どもに丁寧に教えています 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（喧嘩や噛みつぎ等）に対しては、物の取り合い等が昂じて起きる場合があります。その場合には感情的に怒るようなことはせず、根気よく「良くないことである」ということを丁寧に教えています。また、どちらの保護者にも事実経過は伝えています。入園前に子どもの発達の段階で子ども同士のトラブルがあることは説明して理解を求めるようにしていますが、実際に事態が生じた場合には、保護者に対して詳しい説明と謝罪をしています。		
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（○○○○○）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
	評価項目 2 の講評		
	評価項目 2 の講評を入力してください		
	①登園時には保護者から様々な情報を聞き取って、職員間で共有を図っています		

	子どもの登園時には必ず検温をしています。その間に保護者から子どもの家庭での様子や状況を聞き取るようにしています。また、アプリを使つての連絡帳によって保護者からの情報を得ることもできます。保護者から伝えられる子どもの様々な状況や情報は、聞き取った職員により都度パソコンの「保護者送迎備忘録」ファイルに入力して、職員間で共有が図られ、漏れがないようにしています。 ②保護者と密に連携して子どもが園でも家庭でも健やかに成長できるように努めています 園での子どもたちの成長の様子をみながら、家庭においても子どもたちが園で学び経験した成長の過程を継続できるように努めています。子どもの排泄の時間を測って保護者に「そろそろオムツからパンツに変えてみませんか」と伝えたり、食事の形態や食器の大きさ、箸の使い方等も家庭での生活の様子を聞き取り、自宅での生活とすり合わせをしながら相談を受けたり、アドバイスをしています。子どもたちが園でも家庭でも健やかに成長していくことができるように努めています。 ③子どもが主体的に生活し、遊ぶことができるように見守り、配慮しつつ支援をしています 子ども一人ひとりの生活のリズムは当然違ってくるので、その子どもに合わせた食事、排泄、睡眠等を考えて接するようになっています。また、午睡の時間だからといって無理に寝かせたりはしていません。0歳児、1歳児の午睡には乳幼児突然死症候群予防としてセンサーを利用していますが、必ず職員が定期的に目視を行い、チェックして安全を確認しています。降園時には園での子どもの様子や状況を伝えていますが、伝え忘れた場合には電話等で確実に伝えることを原則にしています。																							
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点 (〇〇〇〇〇〇) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 75%;">標準項目</th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目 3 の講評 評価項目 3 の講評を入力してください ①子どもの様子をみながら、訴えを聞き取りながら臨機応変のプログラムを実施しています 法人が運営する保育園が実施している独自のプログラムは当園ではまだ実施していませんが、子どもの様子をみながら、訴えを聞き取りながら臨機応変のプログラムを実施しています。朝や夕方の時間を使って、ままごと、絵本、ブロック等、自分が遊びたい遊具で、好きな遊びが十分に楽しめるように配慮しています。割合はそれほどではありませんが、保育士がお手本を示し、子どもが模倣をしながら積極的に関わられるような環境づくりを行い、ボール入れ、カードめくり、ゲーム等の集団で遊べるようルールのある遊びを計画して一緒に楽しむようにしています。 ②言葉を自然に意識、習得するように接し、読書等で言葉に馴染むよう努めています 子どもたちが言葉を意識して習得していくことができるように、例えば子どもが鉛筆を指さしたのならば「これは鉛筆ね」と言葉にして名前を伝え、悲しそうにしていたなら「悲しいのね!」と子どもが感じている気分や感情を代弁して、言葉で物や感情を表現できるように促しています。また、午睡の前に子どもが絵本を持ってきたら読み聞かせをし、子どもと一緒に歌を口ずさみメロディーと共に言葉を自然に習得していくよう努めています。 ③音楽、植物の栽培等で見たり聞いたり触ったりという五感を育んでいます 普段から散歩に出かける機会を多くとり、見たり聞いたり触ったりなどして五感を育んでいます。職員が歌ったり、リズムを刻むことで、子どもたちが真似をして太鼓、タンバリン、鈴、カスタネットを使ったり、ミルク缶を太鼓に見立てて叩いたり、自分で工夫をしていく子どももいるようです。玄関に置いたプランターで茄子、ピーマン、トマトを栽培し収穫して、2歳児には水遣りの当番をしてもらっています。保護者も子どもの成長の様子を楽しみにしているとのこと。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当																						
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当																						
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当																						
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当																						
4	評価項目 4																							

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点（ 〇〇〇 ）	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当	
評価項目 4 の講評		評価項目 4 の講評を入力してください	
①子どもの得意なことを引き出し、行事に盛り込んでいます 園としては行事のための保育でなく、行事を導入することから子どものやりたい気持ちを引き出すように取り組んでいます。子どもたちがやりたいと思うこと、また得意にしていること、例えば飛び跳ねることを上手にしている子どもがいたら、その子に合わせた取り組みを盛り込むようにしています。とにかく子どもが興味を持てるように、普段から曲を聞かせたり、保育士が楽しんで取り組んでいる様子を見せたりして子どもたちが行事に意欲的に取り組むことができるように促したり、工夫を凝らしています。 ②四季折々の行事を通して、自然に対する感謝の気持ちを伝えています 園では、日本の四季折々の行事が受け継がれることの必要性和自然への感謝に子どもたちにも伝えていくことを意識しながら取り組んでいます。限られたスペースの中で工夫をしながら行事を開催しています。行事の担当者が中心となり企画をたて、各職員が協力をし合いながら準備をしています。準備の段階から子どもたちにも手伝ってもらい、その様子を写真に撮り、ブログにも掲載して保護者にも関心を持ってもらうようにしています。 ③行事の後は振り返りをして、記録に残し次回に繋げていくようにしています 行事が終了したら、行事の担当者を中心に必ず反省会を持って次年度の行事に繋げていくようにしています。行事の準備から実行、その全容をミーティングノートに記録して次回の参考にするようにしています。また園だよりやホームページのブログにも掲載して保護者にも様子を伝えています。保護者の参加はスペースの関係上難しい点もありますが、クリスマス会や親子遠足等には保護者を招待しています。また園の外から行事の様子を見学してもらうこともあります。			
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点（ 〇〇 ）
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当	
評価項目 5 の講評		評価項目 5 の講評を入力してください	
①安心できる環境の中で遊びながら延長時間を過ごすことができます 通常の開園時間は 7 時 30 分から 18 時 30 分、短時間保育が 8 時 30 分から 16 時 30 分となっています。このうち、7 時 30 分から 8 時 30 分、17 : 30 ~ 18 : 30 を延長保育として位置付けています。時間を延長して利用する子どもたちは 1 ~ 2 歳児のスペースに集まって過ごしています。その際には子どもの好きなおもちゃを準備したり、子どもが自分で好きな遊具を選び遊んでいます。担当の職員を必ず 1 名を配置していますが、通常でもフラットなフロアで顔なじみになっている職員なので子どもはゆっくりと安心して過ごしているようです。 ②保護者へのアンケートからも延長時間等に柔軟に対応していることが伺えます 子どもたちが疲れてしまったときには、横になったりして休息を取れるように配慮をしています。保護者へのアンケートで急な残業等で予め取り決めた利用時間の変更に柔軟に対応してくれたかの問いには 70 % 以上の回答者が「はい」と答えています。ただ、連絡手段の徹底についての不満があったようなので、十分な説明が行われることに期待します。			
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点（ 〇〇〇〇 ）
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当	

	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている		○非該当												
評価項目 6 の講評 評価項目 6 の講評を入力してください																
①子どもの自主性を尊重しながらも教育的配慮をする姿勢がみられます 自分のリズムに合わせて生活できるように、食事でもあまり無理に食べさせるようなことはしません。好き嫌いについても残すのは仕方がないにしても、「少しでも食べようね」「今度食べようね」「お友達も食べているから食べてみようよ」と声掛けをしていき、自主性を尊重しながらも教育的配慮をしている様子が伺えます。 ②食事のメニューは細かな点に十分に注意を払うようにしています 園では和風で薄味を基本に旬のものを取り入れるような献立を園の職員によって調理して提供しています。見た目においしく、食べておいしい食事作りを心掛け、「家ではどうですか」といった保護者からも食事について聞き取っています。1か月の間に同じサイクルのメニューが前半、後半として提供されるようになっていて、そのサイクルの間に前半のサイクルで残菜が多かったのはどうしてかとか、後半のサイクルではこの食材は減らしていこうとか、子どもたちの食事に関して細かな点にまで注意を払うようにしています。 ③食に関する意識や知識を得ることができるよう工夫しています アレルギー疾患を持つ子どもには、保護者と主治医との相談でアレルギー代替食について医師からの指示を園に提示してもらい、対応しています。2歳児からは玄関にあるプランターで茄子やピーマン等の野菜の栽培を行っていて、植物の成長する様子を保護者も一緒に楽しんでもらい、食育につなげています。とうもろこしの皮むきや栗のイガイガに触ってみる体験をしてもらい、また食材（献立の材料）を絵でホワイトボードに掲示しています。																
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点（ ○○○ ） <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 70%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目 7 の講評 評価項目 7 の講評を入力してください ①子どもの健康状態に常に注意を払い、衛生管理について見本を示しながら指導しています 登園時には検温を行い、保護者から子どもの体調の変化がないかを聞き取り、顔色や身体の見える部分でけががないかを観察して、健康状態を確認しています。毎月1回の身長と体重の測定結果や園での子どもの健康状態について気になる点等はアプリを使つての連絡帳で保護者に伝えています。年2回、近隣の提携医療機関が健康診断に来ています。日常の手洗いやうがいとは通年注意して見守り、職員が見本を見せながら子どもと一緒にを行うようにしています。鼻水が出るようだったら職員に知らせてくれるように声掛けをしています。 ②医療的なケアが必要な子どもに関しては、保護者と相談のうえ細心の注意を払っています 現在は医療的なケアを必要とする子どもはいません。ケアが必要な子どもの場合には、保護者との面接を行い必要な対応について話し合いを重ねています。子どもの薬は医師の処方箋があれば預かる場合もあります。その際には預かりに関する書類を記入、提出してもらい、1回分（飲み薬だったら飲み切り分）を預かって飲んでもらい、きちんと飲んだかどうかまでを確認しています。 ③発熱があった場合には保護者の仕事も配慮しつつ子どもの体調を優先しています いつもと様子が違ったりするような場合や検温をして発熱が確認されるような場合には、保護者に電話連絡で子どもの様子を詳しく伝えて迎えに来てもらうようにしています。子どもの調子が悪くても熱がないと登園してくる場合がありますが、発熱が確認されたり活動できない状態の時は保護者の仕事面も配慮しながら子どもの体調を優先してもらえよう伝えていきます。感染症発症の場合は登園を停止してもらい、医師の登園許可が出るまでお休みとしています。感染症情報を園内に掲示して保護者に注意喚起しています。				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価	標準項目															
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当														
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当														
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当														
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点（○○○○○） <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 70%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当			
評価	標準項目															
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当														
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当														

	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
	評価項目 8 の講評		
	評価項目 8 の講評を入力してください		
9	①様々な手段で子どもの様子だけでなく園の様子や活動も常に伝えていくようにしています 保護者が仕事をしていることを念頭に、できるだけ個々の状況に応じて対応しています。迎えに保護者が来られない場合には、予めお迎えのカードを渡してあるので代理の方に持参してもらうか、名前、連絡先の記入と身分証を確認して帰ってもらうようにしています。保護者には園の活動に理解してもらえるように子どもの状況だけでなく活動の内容をアプリの連絡帳や園だより、ホームページのブログ等で常に伝えるようにしています。 ②保護者にも園の行事や懇談の機会への参加を促しています 3月の説明会の際に、保護者には仕事があって行事等に参加することは難しいでしょうが、クリスマス会、親子遠足、保護者会にだけは参加をして欲しい旨の説明をしています。保護者会は卒園式の前の3月に行い、1年間の様子や活動、次年度の予定等を伝える場にしています。クリスマス会には保護者が参加するので行事の後にクラス懇談会を開いています。夏には個別面談を実施しています。親子遠足は区内にある法人系列の3つの保育園合同で実施し、その様子はブログでも見る事ができました。 ③個人情報保護の範囲内で保護者との関わりを常に絶やさず保つようにしています 保護者にも保育の知識を学んでもらう機会として、区内同一法人系列の3園合同で「ほめ育」についての保護者講演会を開催しています。行事や懇談への促しは行いますが、保護者も就労していてなかなか参加できる機会が限られているので、登降園時の保護者との会話やアプリを使つての連絡帳や電話での伝達を常にとるようにしています。保護者から面談の希望があった場合にはできる限り対応していますが、他の保護者や子ども同士の個人的な質問等には応じられない旨を伝えています。		
	評価項目 9		
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		
	評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	評価項目 9 の講評		
	評価項目 9 の講評を入力してください		
	①商店街や近隣の方々から温かく見守られ、地域との良好な関係が構築されています 園のスペースが限られていることから、地域の方々が園を訪問して交流を深めるということは困難ですが、子どもたちが公園などに散歩に行く途中に商店街の方々に声を掛けてもらったり、園で設えたプールで遊んでいる様子や夏祭りで子どもたちがお神輿を担ぐ様子を近所や通りがかりの方々が喜んで手を叩いたりして見守ってくれています。園から近隣の高齢者施設へ出向く機会があればと考えていますが、乳児を連れて行くことも含めて検討しているとのことです。 ②地域の関係機関とも関係性が深まり、安心・安全な保育環境を保持しています 当園は東京メトロの千代田線の高架下の商店街に位置しており、こういった環境が地域との良好な関係づくりのきっかけともなっています。また、東京メトログループのホームページでも当園のことが紹介されており、東京メトロの職員が子どもたちの作った万国旗を園の高い所に飾ってくれるなど、園の取り組みを見守ってくれています。さらに、消防署や警察との交流も築いており、防犯や不審者対策など子どもたちの安心・安全な保育環境を保持しています。		

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル①	地域との交流が日常的になされ、安心・安全な保育環境を生み出しています	
内容①	東京メトロ千代田線の高架下の商店街に位置しているため、商店会に加盟して、当初から地域との良好な関係を築いています。運動会ごっこやハロウィンごっこ、夏祭り、プール遊びなどのイベントや行事には、近隣の方たちが見学に来てくれたり、手伝いを買って出てくれたりしています。何も特別な働きかけをした結果というのではなく、商店街や地域の住民たちと、お互いにあいさつしあう関係が自然な形でできあがり、日常的な交流が生まれています。それが不審者や防犯対策にも大きく貢献しており、安心して安全な保育環境を生み出しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者の置かれた環境への配慮、心遣いを行いながら共に育てる保育を実践しています	
内容②	当園は区が指定する小規模保育施設であり、保育必要量が主に保護者がともにフルタイムで就労またはそれに近い場合及びそれに準じた基準の保護者が対象となっています。これら保護者が置かれている状況を園では深く理解しており、アプリを使った連絡帳の使用、延長保育時間の突然の変更への柔軟な対応、保護者の就労状況等を勘案しながらの慣らし保育の実施や行事への参加の促し等、保護者の環境への配慮と心遣いを行っています。その中で保護者の役割の全面的な肩代わりではなく保護者と園が協力しながら子どもの成長を守る保育を実践しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル③	地域の中で系列園が連携を行いながら、目指す保育の実現に向けて協力しています	
内容③	当園には同じ区内に小規模保育施設で同一法人の系列園が他に2園あり、またそれらを統括する支社も置かれています。区内で小規模保育施設が開始されたのが2016年と歴史も浅く、慣れない環境の中での園の運営にとって、これらの存在は非常に心強く、大切なものです。3園は行事の合同実施や協力、保護者講演会の3園での共同開催、マニュアル等の3園間での検討や協議等様々な場面での協力と共に、日常での情報や経験の交換、相談できる関係づくりを行っていて、それらを法人本部や支社が全面的にバックアップする体制も構築されています。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	記録の時間を子どもとの時間に替え、迅速な対応をするために、園が一体となって、「園児管理システム」の構築に取り組んでいます
	内容	記録の時間を子どもと関わる時間に替え、子どもや保護者の情報共有と迅速な対応のために、「園児管理システム」を構築し、データのICT化に取り組んでいます。また、紙媒体のデータを電子化する過程においては、職員は、互いに教え合い、理解し合うことで一体感が生まれ、システム導入がスムーズに進んでいます。さらに、データの管理については、職員ごとにパスワードを設定し、必要なファイルのみアクセス可能とする他、データの園外持ち出しを防ぐため、USBメモリの使用を禁止する等、情報漏えい防止の対策も講じています。
2	タイトル	子どもたち一人ひとりの思いや求めをしっかりと受け止めきめ細かい保育を行っています
	内容	自ら体を動かし、五感の刺激を求めている0～2歳のいわゆる感覚運動期にある一人ひとりの子どもたちの成長過程に合わせた、きめ細かい保育を行っています。発語が十分ではない子どもたちにも、保育士の行動をお手本とした模倣を通じて、積極的に集団に関わることができるよう援助をしています。また、言葉にできない感情や意思を保育士が代弁することによって、言葉に対する興味を湧き立たせるような取り組みを行っています。さらに、個人発達記録をもとに計画を立てて、それぞれの子どもが興味を示す遊びや行動を通じて発達を促しています。
3	タイトル	風通しのよい職場環境が明るく温かい園の雰囲気を生み出しています
	内容	常勤だけ8名という少人数の職員構成の利点を生かして、職員全員で積極的な意見交換や情報の共有そして提案が日々に行われています。先進的なICTによる園児管理システムも活用されていますが、何より、目や声の届く範囲にすべての職員がいるため、時機を逃さずに声を掛け合うことができ、気づきの共有や業務の改善がスムーズに行われています。年齢や経験による職員間の断絶がないため、積極的で、風通しのよい職場環境を形作っています。そこから生まれてくる本園の温かく協調的な雰囲気が、子どもたちに大きなプラスの影響を与えています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園が大切にする法人理念・基本方針について保護者への浸透を期待します
	内容	法人理念の浸透に向けて、常に目に触れる玄関正面に掲げるとともに、職員には、毎年行われる職員の研修会において、理事長より講話を受ける等、仕事に誇りとやりがいを持つための共通理解を図っています。一方、保護者には、入園時、園の運営方針等、保護者が必要とする園への共有事項を説明しますが、手渡しする重要事項説明書には、法人理念の記載はなく、保護者会の中や、園だよりへの掲載等で、法人理念をアピールするまでには至っていません。今後は、理念を共有する機会をつくる等、職員とともに保護者も理解が深まる取り組みに期待します。
2	タイトル	個人別研修履歴の整理と記録を行い、園の求める人材像を踏まえた、個人別育成計画の策定を期待します

	内容	園は、キャリアパス要件により、園が必要とする人材像を明確にして、人材育成に取り組んでいます。また、園長は、育成面接の中で、それぞれのキャリアごとに、業務に応じた研修やキャリアアップのための研修を、積極的に推奨し、職員の能力向上を図っています。一方で、年間の研修受講実績は、受講年月日順に記録されているものの、個人別に整理された受講記録はなく、過去の受講も明確でない状況が伺えます。個人別研修履歴の整理と記録を行い、職員一人ひとりの育成成果を確認して、個人別育成計画を策定することを期待します。
3	タイトル	小規模ゆえに必要な協力の構築や職員間の融和を図る働きかけや工夫を期待します
	内容	地域における小規模保育施設の歴史も浅く、当園も園長の交替といった変遷を遂げてきていますが、その中でも園長や職員の保育への想いと協力によって、今回の保護者へのアンケートでも「満足」以上の回答が80%近くを占めており、評価が高くなっています。小規模ゆえに職員間の協力体制が求められる半面職員が自由になれるスペースや心理的な環境が恵まれないといった環境の中で、園長が心砕いておられることはよく理解できますが、職員間の融和を図るための雰囲気づくりに今一步の働きかけや工夫を期待します。